

学年	中1	教科	音楽	科目	音楽	単位数	1.3
教科書名	中学生の音楽1 (教育芸術社) 中学生の器楽 (教育芸術社)			副教材名	音楽のキャンパス1 (教育芸術社)		
クラス・コース	中高一貫コース			担当者名	山本 堅太郎・山本 みずき		

I. 目標

基礎的な音楽表現の技能を身に付け、創造的に表現する能力を育てる。
 多様な音楽に興味、関心を持ち、幅広く鑑賞する能力を育てる。
 また、アルトリコーダーの基礎的な知識及び技術を身に付ける。

II. 授業のねらい

- 歌唱・発声を通して声の出る仕組みを知る。
 - ・合唱を通して、声を合わせて歌う喜びを知る。
- 器楽・アルトリコーダーを通じて楽器の基礎を身に付ける。
- 鑑賞・器楽曲や外国語の歌曲に触れ、作品の特徴や表現の多様さを感じる。

III. 授業の進め方

発声練習をし、声を鍛えながら、教科書やプリントの曲を歌唱する。
 演奏と同時にワークやプリントなどを使いながら、作品の理解を深める。
 鑑賞をし、音楽のもつ表現を感じ取り、ワークにまとめる。

IV. 学習上の留意点

発声練習でしっかりと声を出し、正しい姿勢で歌うこと。
 教科書、ノート、楽器を忘れず用意し、授業に取り組むこと。

V. 定期試験

各学期に、歌唱、アルトリコーダー、小テストを行い、鑑賞ノートや授業態度を総合的に判断して評価する。

- 1学期中間：歌唱試験「校歌」
- 1学期期末：リコーダー試験「かっこう」、小テスト
- 2学期中間：歌唱試験「浜辺の歌」
- 2学期期末：リコーダー試験「オーラリー」、小テスト
- 学年末：歌唱試験「赤とんぼ」、小テスト

VI. 評価の方法

実技試験を中心に、各学期末の小テストの他、歌唱や合唱、鑑賞の記録など意欲的に取り組んでいるかななどを総合的に評価する。

7. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	年間通して、発声は必ず行う。 ・歌唱「校歌」 歌唱テスト ・音符、休符、記号の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テスト ・音楽のキャンパス提出 ・ワーク及び鑑賞の記録 ・歌唱態度 ・実技テスト ・練習・正しい奏法 ・1学期のまとめ小テスト 	音程を正しく、正確に歌う。 歌詞を覚える。 音楽の基礎知識を確認する。 演奏される楽器などの構成を知る。作品を知り、作曲家への理解を深める。 ハーモニーの変化を感じながら歌う。アルトリコーダーについて知る。 演奏を通し楽器の構成を知る。
	5	・鑑賞「春（ヴィヴァルディ）」 ・歌唱「主人は冷たい土の中に」		
	6	「エーデルワイス」 ・歌唱「主は冷たい土の中に」 歌唱テスト 構造、指番、チューニング 姿勢と構え方、タンギング		
	7	・演奏「喜びの歌」「かっこう」 ・アルトリコーダーテスト		
二学期	9	・歌唱「浜辺の歌」 歌唱テスト ・合唱練習 (曲目は年度によって選曲する)	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テスト及び音楽のキャンパス提出 ・ワーク及び鑑賞の記録 ・歌唱態度 ・実技テスト ・合唱に取り組む態度 ・2学期のまとめ小テスト 	フレーズの特徴を生かし、表現を工夫して歌う。 歌詞を理解し、曲への理解を深める。 詩の内容と曲想の変化との関わりを感じ取る。 作曲家・作品への理解を深める。鑑賞の魔王は、日本語とドイツ語の歌詞の味わいを感じ取る。 リコーダーはサミングを習得する。
	10	・鑑賞「魔王（シューベルト）」 原語（ドイツ語）と日本語		
	11	・歌唱「パフ」 ・アルトリコーダー 右手を加えた運指、サミング 「カノン」「オーラリー」		
	12			
三学期	1	・歌唱「赤とんぼ」 歌唱テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テスト ・ノート提出ワーク及び鑑賞の記録 ・歌唱態度 ・合唱に取り組む態度 ・3学期のまとめ小テスト 	詩や曲の雰囲気にあった声で言葉の抑揚をつけて歌う。 作詞・作曲者の代表作にも触れながら、自分達の歌唱にも日本の伝統文化に親しみを持つ。 曲想を感じ取って、速度や強弱の変化を生かした表現を工夫する。
	2	・鑑賞「箏曲 六段の調」		
	3	・アルトリコーダー 「われは海の子」 ・合唱練習 ・学年末まとめ、卒業式歌の練習		

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。